

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	藍野大学
設置者名	学校法人 藍野大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
医療保健学部	看護学科	夜・通信	0	0	21	21	13	
	理学療法学科	夜・通信			21	21	13	
	作業療法学科	夜・通信			21	21	13	
	臨床工学科	夜・通信			20	20	13	
(備考) 教育課程の進行の途上であるため、1.2年は新課程、3.4年は旧課程について記載・計上している。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://univ.aino.ac.jp/life/learning-support.php

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 理事（役員）名簿の公表方法

--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	藍野大学
設置者名	学校法人 藍野大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>全授業科目のシラバスを大学ホームページのシラバス公開システムにより広く社会に公表している。シラバスは、次年度の授業担当者が確定後、例年1月中旬に授業担当者による原稿を学生支援グループにて取りまとめ、授業担当者以外の教員による内容のチェック、学生支援グループによる形式、不足事項等のチェックを経た後、4月1日までにすべて公表する。シラバス公開システムの利用法、検索の仕方等については、4月当初のガイダンスにおいて全学生に説明している。</p> <p>〈シラバスに記載している主要な内容〉</p> <p>科目の概要、学習到達目標、授業の内容(各回次ごと)、授業方法、事前・事後学習、成績評価の方法、教科書、参考書、連絡先、オフィスアワー、実務経験をいかした教育内容</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://ep-aino-univ.aino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の学修の評価は、シラバスに記載されている「成績評価の方法」により厳密に行う。AA～Cのグレードポイントで評価し単位授与を行い、D評価または出席不良等による評価対象外のF評価については単位不認定としている。シラバスで示す評価方法は、科目の目標、実施方法により筆記試験、口述試験、レポート、発表等適切な方法を設定し、それらを組み合わせて評価する場合はその数量的な割合を明示している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、シラバスにより示された評価基準に従って、AA、A、B、C、D(不可)の5段階で評価を行い、AAからDまでを4から0までのポイント(GP:Grade Point)に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で除した平均点をGPAとして設定している。GPAは客観的な指標として、学生自らの学修状況の把握(各期の修得単位通知書に記載)、教員による学習指導、履修登録科目数の上限数、資格課程の履修条件などに用いている。</p> <p>GPAの計算方法、算出例は、履修中止科目などの諸注意を含め、学生便覧および大学ホームページで広く社会に公表している。また、GPAの分布状況は、学部および学科単位で集計し、学部教務委員会、各学科で把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧、ホームページ http://univ.aino.ac.jp/info/06.php</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定については、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)として学部および各学科で定め、学生便覧および大学ホームページで公表している。ディプロマ・ポリシーには、①知識、②技能、③態度・姿勢、④協創の4項目について、学部の共通方針と各学科の専門分野における方針を明示している。学修成果の可視化のために、毎年学修行動調査を行いその結果をホームページで公表している。2019年度からは、学位プログラムの視点から特定科目の学修成果の評価を実施し、ディプロマ・ポリシーの検証を開始している。</p> <p>卒業認定手続きは、教育課程に記載されている卒業要件単位を各学科、学部教務委員会で確認した後、教授会で審議し、学長が認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生便覧、ホームページ http://univ.aino.ac.jp/summary/policies.php</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://univ.aino.ac.jp/oneself/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://univ.aino.ac.jp/oneself/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 医療保健学部
教育研究上の目的（公表方法：学生便覧、ホームページ http://univ.aino.ac.jp/summary/idea.php ）
（概要） 保健・医療・福祉に係る幅広い知識と技能を教授し、豊かな人間性、倫理観と最良の適応力と創造性を備えた、実践・教育・研究の場で活躍できる保健・医療・福祉人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：学生便覧、ホームページ http://univ.aino.ac.jp/summary/policies.php ）
（概要） 医療保健学部では、教育目標に照らし、学部および学科で定めた以下のような能力・資質を身につけることを、卒業認定、および、学士の学位授与の方針とする。各学科で定めた卒業要件単位の修得をもって、系統的な履修にもとづく学位授与方針の達成とみなす。 【Ⅰ. 知識】 医療の基礎的知識に加えて、人や文化、社会情勢、科学技術、環境等に関する基本的な教養を習得している。 【Ⅱ. 技能】 知識、技術、情報を活用、発信する実践力、コミュニケーション力を体得し、専門職者として科学的根拠に基づいた対応ができる。 【Ⅲ. 態度・姿勢】 医療人および社会人として必要な倫理観、行動力を備え、生涯学び続けることで日進月歩の医療知識を職務に反映しようとする心構えができています。 【Ⅳ. 協創】 医療に関わる全ての人と、調和的、創造的な問題解決が遂行できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：学生便覧、ホームページ http://univ.aino.ac.jp/summary/policies.php ）
（概要） ディプロマ・ポリシーを達成するため、教育課程を基礎科目、専門基礎科目、専門科目の 3 区分で構成し段階的に配置している。各区分は、以下のような目標をもつ授業科目で構成される。 「基礎科目」「専門基礎科目」においては、国内外の文化や思想、社会の仕組みや社会情勢についての知識、医療人の基盤となる基礎知識および汎用的技能や倫理観を学ぶための科目を配置する。また、協働的な問題解決能力を習得するためにシンメディカルⅠ～Ⅳを配置する。 「専門科目」においては、各専門職の実践に必要な知識技能を習得するための科目を段階的に配置する。また、医療専門職者として、生涯にわたり継続して学術的探究を行う姿勢を習得するため、研究法、卒業研究科目を配置する。 教育課程の実施にあたっては、各国家試験、実習等での実践能力到達目標をベンチマークとして学習成果の到達度を検証する。また、「基礎科目」から「専門科目」までアクティブラーニングなどの主体的学習方法を推進し、学内外の実習においては「振り返り」を重視することで学習効果を高める。学習成果の評価においては、各科目の成績評価、授業アンケートおよび PEPA (Pivotal Embedded Performance Assessment ※重要科目での埋め込み型パフォーマンス評価)を取り入れる。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入試ガイド 電話・インターネットなどを通して資料請求する、ホームページ <http://univ.aino.ac.jp/summary/policies.php> 等）

（概要）

【看護学科】

1. 求める学生像

医療保健学部看護学科では、卒業後に看護職として従事することを前提に、医療専門職に求められる知識技能の修得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

- (1) 医療と看護の重要性について理解がある人【知識・技能】
- (2) 人々の健康や福祉の向上および活動に関心が高く、周りの人々と協働することができる人【主体性・協働性】
- (3) 人の話を聴くことができ、自己の考えを相手にわかるように示せる人【思考力・判断力・表現力】
- (4) 生物、化学、物理、数学を通じて得られる看護に必要な自然科学的思考力と英語、国語の読解力・言語運用能力を有する人【知識・技能】

2. 入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行います。

(1) 総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文において医療人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。

(2) 学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

(3) 一般選抜入試

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

(4) 大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

【理学療法学科】

1. 求める学生像

医療保健学部理学療法学科では、卒業後に理学療法士に従事することを前提に、医療専門職に求められる知識・技能の習得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

- (1) 人々の健康、医療、福祉に関心があり、理学療法士の特性、役割、重要性について理解している人【知識・技能】
- (2) 自分の言動に責任を持ち、周りの人々と協働することができる人【主体性・協働性】
- (3) 人の話をよく聞くことができ、道徳的見地から判断し、かつ、論理的に考え、自分が思っていることを相手に理解できるように説明ができる人【思考力・判断力・表現力】
- (4) 英語・国語の読解および表現能力があり、数学・生物・物理に関する医療系カリキュラムに適応できる基礎知識を有する人【知識・技能】

2. 入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行います。

(1) 総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文、小レポート、テストなどにおいて医療人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。試験内容は、各学科選抜で重視する項目に応じて組み合わせを行い実施します。

(2) 学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

(3) 一般選抜入試

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

(4) 大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

【作業療法学科】

1. 求める学生像

医療保健学部作業療法学科では、卒業後に作業療法士に従事することを前提に、医療専門職に求められる知識技能の習得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

(1) 日本の医療の現実と作業療法の重要性について理解している人【知識・技能】

(2) 人々の健康や福祉の向上とそれに向けた活動に関心の高い人【主体性・協働性】

(3) 人の話をよく聞くことができ、論理的に考え、自分が思っていることを相手にわかるように示せる人【思考力・判断力・表現力】

(4) 英語・国語の読解力および言語運用能力があり、医療を理解する上での理科系の基礎知識を有する人【知識・技能】

2. 入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行います。

(1) 総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文、小レポート、テストなどにおいて医療人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。試験内容は、各学科選抜で重視する項目に応じて組み合わせを行い実施します。

(2) 学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

(3) 一般選抜入試

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

(4) 大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0人	69人	69人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： http://univ.aino.ac.jp/info/03.php	
c. FD (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)		
<p>本学では、FDを主幹する組織としてFD・SD推進委員会を設置している。</p> <p>2020年度におけるFD・SD推進委員会の主な活動内容としては、以下の通りである。</p> <p>1. 教育の質的状況の把握と改善に向けた取り組みとして、授業アンケートの実施およびアンケート方法・内容についての改善点の検討、授業の取り組みを評価するシステム (Best Lecturer 賞) の運用および改善点の検討を行った。</p> <p>2. 研究倫理教育研修会およびFDまたはFDSD研修会として、3つのテーマ (研究倫理・学習成果の可視化・データサイエンス) に基づき合計10回の研修会を実施した。</p> <p>なお、2020年度においては新型コロナウイルス感染拡大の影響で急遽遠隔授業を導入する必要性が生じたため、年度開始の時期には遠隔授業実施に向けた研修会を4回にわたり実施した。</p>		

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
医療保健学部	295人	339人	114.9%	1184人	1195人	100.9%	2人	1人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	295人	339人	114.9%	1184人	1195人	100.9%	2人	1人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医療保健学部	264人 (100%)	2人 (0.8%)	243人 (92.0%)	19人 (7.2%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	264人 (100%)	2人 (0.8%)	243人 (92.0%)	19人 (7.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
済生会京都府病院、みどりヶ丘病院、茨木医誠会病院など				
(備考)				

学部等名	入学者数	修業年限期間内			
		卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
医療保健学部	297人 (118.8%)	230人 (77.4%)	37人 (12.5%)	30人 (10.1%)	0人 (0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	297人 (118.8%)	230人 (77.4%)	37人 (12.5%)	30人 (10.1%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 全授業科目のシラバスを作成し、その中に授業の方法、内容、授業計画等を記載している。シラバスは、大学ホームページのシラバス公開システムにより広く社会に公表している。また、学生においては大学のポータルシステムからも閲覧可能であり、シラバス公開システムの利用法、検索の仕方等については、履修のガイダンスにおいて全学生に説明している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 卒業の認定については、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)として学部および各学科で定め、学生便覧および大学ホームページで公表している。ディプロマ・ポリシーには、①知識、②技能、③態度・姿勢、④協創の4項目について、学部の共通方針と各学科の専門分野における方針を明示している。学修成果の可視化のために、毎年学修行動調査を行いその結果をホームページで公表している。2019年度からは、学位プログラムの視点から特定科目の学修成果の評価を実施し、ディプロマ・ポリシーの検証を開始している。 卒業認定手続きは、教育課程に記載されている卒業要件単位を各学科、学部教務委員会で確認した後、教授会で審議し、学長が認定する。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
医療保健学部	看護学科	127単位	有・無	50単位
	理学療法学科	126単位	有・無	50単位
	作業療法学科	128単位	有・無	50単位
	臨床工学科	129単位	有・無	50単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法： 学生便覧、ホームページ http://univ.aino.ac.jp/info/06.php		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： http://univ.aino.ac.jp/shikaku/qualification.php http://univ.aino.ac.jp/file/life/inspection.pdf http://univ.aino.ac.jp/info/06.php http://univ.aino.ac.jp/info/09.php		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://univ.aino.ac.jp/info/07.php>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
医療保健 学部	看護学科	1,150,000円	250,000円	入学初年度及び 在学5年目以上 450,000円 在学2～4年目 550,000円	施設設備費：300,000円 実験実習費： 入学初年度及び在学5年目以上 150,000円 在学2～4年目 250,000円
	理学療法学科				
	作業療法学科				
	臨床工学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 全学科において担任制度を設け、各学年に複数名の担任を配置し、学生の学修状況や生活状況等の把握に努めている。 また、学習支援として、各学科で必要に応じカリキュラム外に少人数グループ制、または個別の学習支援を行っている。 さらに国家試験受験支援として、各学科において模擬試験や少人数制による指導を中心に、クラス全体での講義や個別指導等、様々な状況に合わせて早期より支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 病院・クリニック診療所・老人保健施設等を対象とした就職説明会を学科ごとに実施している。就職指導としては、スタートアップセミナーや履歴書・面接対象講座を外部から講師を招き実施している。また、個別にエントリーシート・履歴書の記入や小論文対策、身だしなみ・所作を含めた就職面接指導も実施している。学生が就職活動全般をスムーズに行えるように、学内の就職指導委員会において、企画・指導・情報収集などについて審議している。 平成26年度(2014)より藍野大学求人情報システム“AINONAVI”を導入し、各病院等施設から届いた求人や各病院等施設が直接入力した求人情報を掲載しており、学生への就職情報ツールとして役立てている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では学生の心身の健康を保持・増進するために、保健管理室が主に学生の身体的サポートを行い、学生相談室が生活面を中心に心理的な問題を広く支援している。 保健管理室では、学生が健康を維持して学業に専念できるように援助することを目的としている。この目的を達成するために保健管理室委員会を設置している。 また、学生相談室では学生生活の中で生じる様々な問題について、未然に防止したり、問題解決を通じて学生自身が成長できるように支援することを目的としている。この目的を達成するために、学生相談室運営委員会を設置している。 その他、障害のある学生に対し公正な教育を保障し、修学および学生生活における支援を積極的に推進することを目的に、障害学習修学支援委員会を設置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://univ.aino.ac.jp/info/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F127310108296
学校名	藍野大学
設置者名	学校法人 藍野大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		94人	90人	98人
内 訳	第Ⅰ区分	49人	55人	
	第Ⅱ区分	32人	23人	
	第Ⅲ区分	13人	12人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				98人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。